

**町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画**  
**～V e r . 2～**  
**(骨子)**

2022年8月

町田市

## 1 計画改定の背景

町田薬師池公園四季彩の杜（以下、「四季彩の杜」という。）は、町田市を代表する公園である薬師池公園をはじめ、西園（ウェルカムゲート）、リス園、ぼたん園、ダリア園、七国山緑地保全地域など、観光施設や豊かな自然環境、歴史的資産を有した市の中心部に位置する広域なエリアの総称です。

市では、四季彩の杜が“地域への愛着や誇りが醸成されるような観光拠点”となることを目指して、2014年6月に「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」を策定し、これまで多くの事業を展開してきました。こうした取り組みの成果により、四季彩の杜全体の来園者数は毎年増加しており、2021年度は125万人と過去最高の賑わいをみせています。特に、2020年4月に開園した西園は、「カフェ・レストラン」「芝生広場」「ラボ・体験工房」など、新たな公園の楽しみ方を提供することで憩いの空間を生み出し、市内外からも多くの方が訪れるとともに、来訪者から高い満足度を得ています。

一方、コロナ禍における人々のライフスタイルや価値観の変化、デジタル化の進展やSDGsによる持続型社会への転換など、社会情勢は大きく変化しています。こうした中において、改めて四季彩の杜全体の価値や求められる役割、機能を捉え直し、一層魅力を高めていくことで、より多くの方々に選ばれるエリアとしていく必要があります。

また、2022年4月にスタートした市の新たな基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる“なりたいまちの姿”に至るための関連する政策（「政策3 自分らしい場所・時間を持てるまちになる」、「政策8 思わず出歩きたくなるまちになる」）の実現に向けて、四季彩の杜の今後の事業スケジュール等を見直す必要があります。

## 2 計画の目的

本計画は、前計画の考え方を継承しつつ、西園の開園で生み出した新たな価値を活かすとともに、時代や社会情勢の変化に合わせた策定を行います。策定にあたっては、来園者層やニーズの変化を的確に捉え、新たな視点も取り入れながら四季彩の杜が町田市のシンボルとなるようブランディングや整備、実施事業の指針となるよう前計画のバージョン・アップを図ります。

賑わいを創出するとともに、効率的で持続可能なエリア管理運営を行うための、これからの四季彩の杜の方向性を示すことを目的とします。

なお、本計画の実施期間は2023年度から2032年度の10年間とします。

### 3 計画の対象

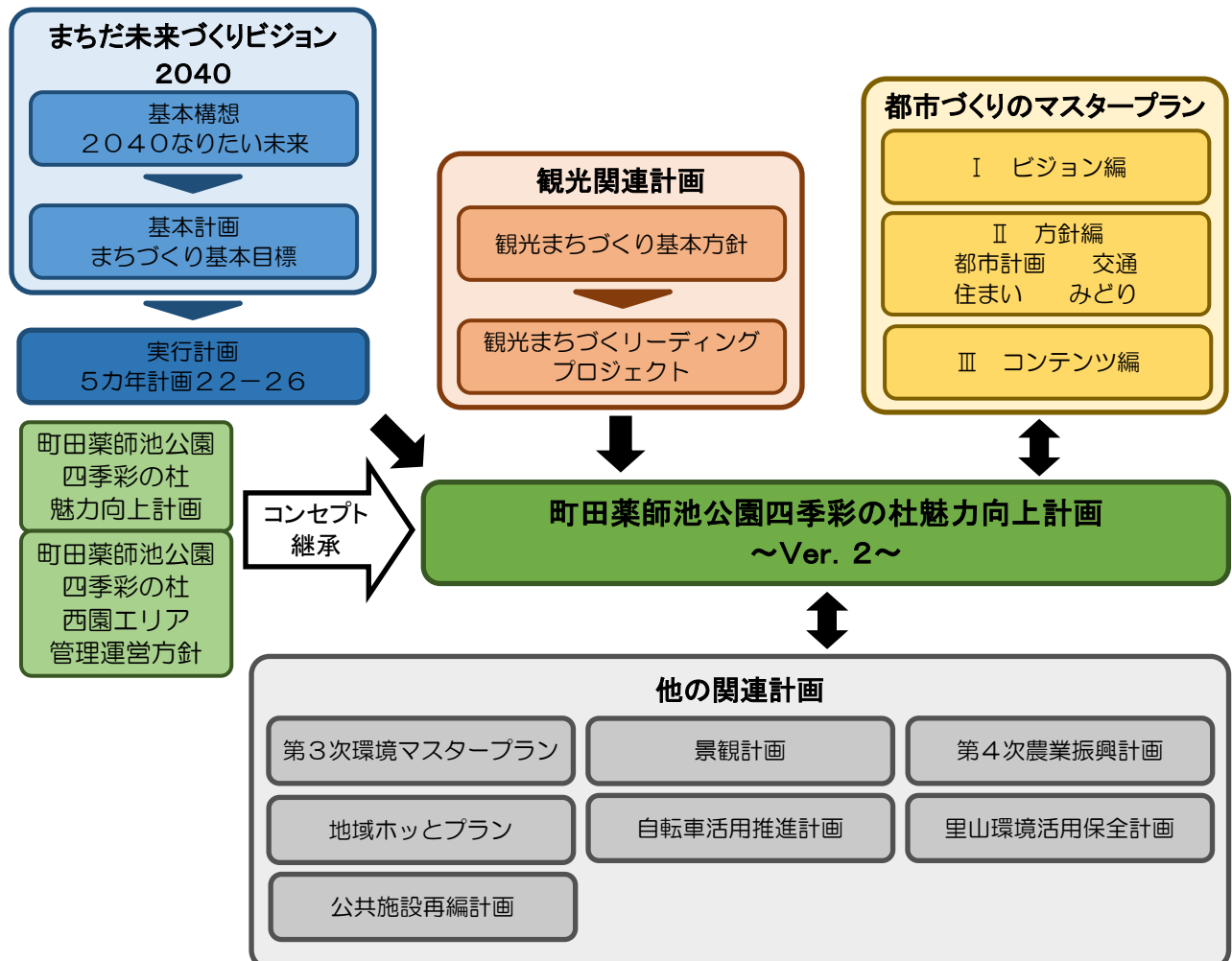
本計画の対象は、四季彩の杜を構成する以下のエリアとします。

- ① 薬師池（フォトサロンを含む）
- ② 西園（ウェルカムゲート）
- ③ リス園
- ④ ばたん園（民権の森緑地保全地域を含む）
- ⑤ 北園（七国山ファーマーズセンター、ふるさと農具館を含む）
- ⑥ 七国山緑地保全地域
- ⑦ ダリア園
- ⑧ 南園（えびね苑）
- ⑨ 施設間エリア（私有地を含む）

### 4 計画の位置づけ

本計画は、まちだ未来づくりビジョン2040及び町田市観光まちづくり基本方針に対応します。また、町田市都市づくりのマスタープランについても対応するとともに、コンテンツ編の「まちづくり構想等」に位置づきます。さらに、他の関連計画と整合を図りながら事業を推進します。

#### ■ 計画の位置づけ



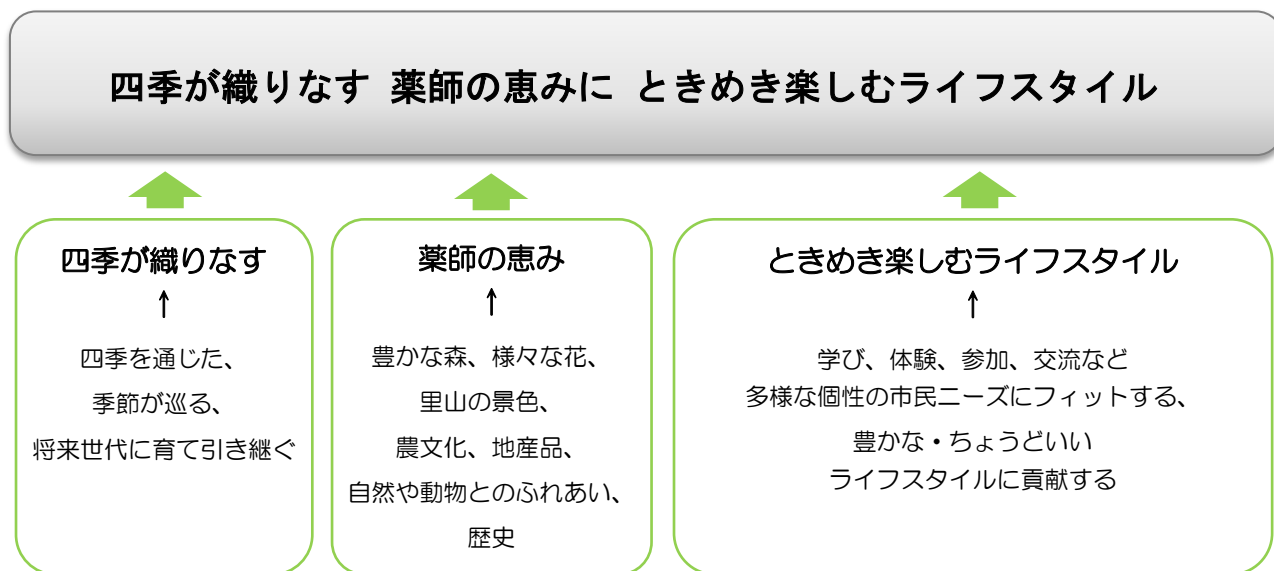
## 5 基本理念

2014年6月に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画」では、基本コンセプトを『四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園』と設定しています。また、西園の開園に向け2018年3月に策定した「町田薬師池公園四季彩の杜西園エリア管理運営方針」では、四季彩の杜のブランド・アイデンティティとして『「やくしの時間（とき）」の体感と暮らしの彩り（※1）』を提供していくと定めています。

2020年4月に西園が開園し、散策や憩い、風景を楽しむといった、これまでの公園の利用方法に加え、学びや体験、交流の機会の場を提供するようになり、「やくしの学び」などを中心に大人から子どもまでが学習できるイベントで賑わいが生まれています。このことは、公園や公共施設の新たな楽しみ方として学びや体験などへのニーズの高まりを示しています。

また、コロナ禍によるライフスタイルの変化は、野外活動や農作業、保養などの自然とのふれあいの需要を呼び起こし、本エリアの地域資源の存在意義をさらに高めています。今後も様々なライフスタイルにあった空間や体験を通して、来訪者それぞれが思い思いに楽しみ、心地よく感じられる四季彩の杜の魅力を提供していく必要があります。

四季彩の杜に訪れた方が、四季を通して花や風景を楽しみながら回遊する、前計画のコンセプトとブランド・アイデンティティ「やくしの時間（とき）」を継承しつつ、現状や環境の変化を捉え、「ときめき楽しむライフスタイル」の視点を加えた基本理念を定め、町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画を推進します。



《参考》※1 「やくしの時間（とき）」の体感と暮らしの彩り

「やくしの時間」とは、町田薬師池公園四季彩の杜に流れる時間・期間・季節・風景や独特の雰囲気・空気感を表しているものです。

この土地に流れる独特の「やくしの時間」をかえがたい魅力としてとらえ、特別な日だけではなく、普段でも立ち寄りたくなるような、暮らしの中の彩りとなる居場所を提供していきます。

## 6 現状と課題の整理

前計画の方針と方策	成果と取組	現状の課題	
<p><b>(I) 四季折々一年を通して楽しむことができる場</b></p> <p>【ハード事業】 足湯施設の整備、フォレストアドベンチャー施設設置、昆虫の森の整備、学習コーナーの設置、バーベキュー施設整備            【ソフト事業】 桜・紅葉のライトアップイベント、夏のキャンドルナイトイベント、各地方のお祭りの誘致、ユズ湯等の変わり湯（足湯）、フォレストアドベンチャー体験、レベルアップイベント、トレイルラン</p>	<p>・草花を中心に四季を楽しむための選択枝は増え、一年を通して楽しめる場の提供が進んでいる。            ・西園の開園により、一年を通しての来訪者は増加している。来訪の傾向は初めての来園が多い。            ・子ども向けイベントによって親子連れの来訪が増えているものの、子どもが楽しめる場やイベントの提供が進んでいない。</p> <p>【ハード事業】            ラボ・体験工房、ライブラリー・ラウンジの設置 など            【ソフト事業】            春フェア、紅葉のライトアップ、子どもday's、ブルーベリー摘み取り など</p>	<p>○</p> <p>・四季を通じて花やみどりがさらに楽しめるよう<b>草花を計画的に配置</b>する必要がある。            ・<b>何度でも訪れたい</b>くなるような好循環を生み出す場を提供する必要がある。            ・<b>子どもを対象</b>とした場の整備やイベントのさらなる充実が必要である。</p>	A
<p><b>(II) 里山観光の拠点としての一体性の構築</b></p> <p>【ハード事業】 ゲートハウスの整備、フットパスルートの設定及び整備、地域ホームページ及びイベントブログの開設            【ソフト事業】 地域イメージアップイベントの適宜開催、この地が持つストーリーを使ったPR、地域内スタンプラリー、地域魅力向上アイデアコンテスト、里山・鎌倉古道・歴史ウォーク</p>	<p>・総合案内所が設置され、HPやSNSが開設されたことより情報発信拠点ができた。            ・施設運営連絡協議会の開催により、情報共有や連携イベント実施など一体性が構築されつつある。</p> <p>【ハード事業】            ウェルカムゲートの整備、四季彩の杜ホームページの開設 など            【ソフト事業】            地域イメージアップイベントの適宜開催、地域内スタンプラリー、ウォークツアー など</p>	<p>○</p> <p>・来訪者視点に立った<b>総合案内所機能をさらに強化</b>し、季節ごとの見どころや様々な来訪者ニーズを踏まえた情報を提供する必要がある。            ・地域内を巡るためにHPやSNSを用いて各エリアが連携し<b>一体性をもった情報を継続的に発信</b>する必要がある。</p>	B
<p><b>(III) 施設個々の魅力向上と町田を発信するソフト事業の継続展開</b></p> <p>【ハード事業】 園路・広場・施設等の改修、薬師池浚渫及び浄化システムの整備、イベントスペース・舞台の設置、施設の歴史等がわかる案内看板の設置、食事施設・休憩所の設置、梅林の創出、えびね苑移転            【ソフト事業】 梅まつり、花菖蒲まつり、ほおずき/あさがお市、大賀ハス祭り、観蓮会、菊花展、イベントスペース・舞台を使ったイベントの継続開催、和楽器等の生演奏、写生会、撮影会、平和の鐘の鐘撞き、菖蒲の草木染め・押し花体験、ボタン観賞会等</p>	<p>・新たにオープンしたカフェ・レストランや直売所が好評で、飲食施設の追加設置やファーマーズマーケット開催の要望が多い。一方で、開園から30年が過ぎた施設も多く、既存施設の老朽化が進んでいる。            ・施設間連携イベントや各エリアで特色あるイベントを実施し、メディアなどを利用した積極的な情報発信により四季彩の杜の認知度が向上してきている。</p> <p>【ハード事業】            カフェ・レストラン、直売所の設置、浄化システムの整備、歴史案内板の設置 など            【ソフト事業】            しょうぶ・あじさいまつり、観蓮会、ニホンリス展示ブース設置、ダリアの名称公募 など</p>	<p>○</p> <p>・西園「カフェ・レストラン」は多くの来訪者で賑わいをみせている。この<b>好事例を分析</b>し、他の施設の改善に繋げていく必要がある。            ・既存施設を維持するとともに、魅力を向上するために、<b>施設の老朽化や新たなコンテンツの提供</b>などに対応する必要がある。            ・地域の自然や文化、歴史などエリアの特色を活かした<b>テーマ性のあるイベント</b>によって、<b>幅広いニーズに合う事業</b>を行う必要がある。</p>	C
<p><b>(IV) 地域へのアクセス、施設間のスムーズな回遊性の実現</b></p> <p>【ハード事業】 地域内移動手段の設置、地域共通サインの設置、施設連絡通路の整備、駐車場の入庫レーンの整備            【ソフト事業】 公共交通利用の啓発</p>	<p>・駐車場の入庫レーンの整備により、鎌倉街道の渋滞緩和に繋がったが、ハイシーズン時は渋滞が生じている。            ・公共交通機関を利用した来訪者増加につながっていない状況がある。            ・地域共通サインの整備により、エリア内移動のための利便性向上を図った。</p> <p>【ハード事業】            地域共通サインの設置、駐車場の入庫レーンの整備、シェアサイクルポートの設置 など            【ソフト事業】            公共交通利用の啓発、無料周遊バス（春フェア、紅葉まつり）運行 など</p>	<p>△</p> <p>・鎌倉街道の整備による渋滞の解消とあわせて、駅からの案内をわかりやすくするなど<b>公共交通機関の利便性を向上</b>する必要がある。            ・エリア内のさらなる<b>回遊性向上</b>のため、移動しやすさ、案内のわかりやすさが必要である。</p>	D
<p><b>(V) 利用の核となる拠点の整備</b></p> <p>【ハード事業】 ゲートハウスの整備（インフォメーションセンター、売店(地産品販売)、茶店、カフェ、レストラン、駐車場、バスステーション等の地域観光・レクリエーションの拠点）            【ソフト事業】 -</p>	<p>・ゲートハウス機能を備えた西園の開園によって、利用の核となる拠点整備ができた。            ・西園前のバスベイの整備により、ウェルカムゲートへの利便性を増すことができる。</p> <p>【ハード事業】            ウェルカムゲート整備 など</p>	<p>○</p> <p>・エリア内の情報を一括で得られる拠点として<b>総合案内所機能を強化</b>、継続していく必要がある。</p>	E
<p><b>(VI) 町田市民の参加・交流による相乗効果の醸成</b></p> <p>【ハード事業】 農の体験施設整備（花摘み草花園、収穫体験農園、レストハウス等）            【ソフト事業】 花摘み収穫体験（農の体験施設）、収穫祭・芋煮会、田植え体験、昔の農具体験、収穫バーベキュー大会、作物コンテスト、菜種絞り体験、各施設が連携したイベントの開催、地域ガイド養成講座、町田味自慢コンテスト・ご当地弁当販売</p>	<p>・やくしの学びや農業体験などによって、市民参加や交流が行われた。            ・観光コンベンション協会が地域ガイドの補強のために、観光案内人養成講座を行っている。</p> <p>【ハード事業】            農の体験施設整備 など            【ソフト事業】            農業体験、菜種絞り体験、各施設が連携したイベントの開催、観光案内人養成講座 など</p>	<p>△</p> <p>・<b>地域と連携したイベント</b>を継続していく必要がある。            ・市内で活動している<b>個人や団体の地域への参加の働きかけ</b>が必要である。</p>	F
<p><b>(VII) 里山景観・眺望、みどりを活かした地域づくり</b></p> <p>【ハード事業】 花のまちづくり拠点整備、自然観察路整備            【ソフト事業】 樹林・里山ガイドウォーク、山野草観察会、自然観察会</p>	<p>・里山景観維持のため、そばや菜の花の栽培を行い、特徴的な眺望を活かした。            ・全体では花やみどりを活用した施策はまだ少ないため、地域づくりをさらに進められる可能性がある。</p> <p>【ハード事業】            自然観察路整備 など            【ソフト事業】            山野草観察会、ダリアガイドツアー など</p>	<p>△</p> <p>・多様な主体の参加により<b>持続的に花やみどりを守る</b>ことが必要である。            ・花やみどりと<b>のふれあいの機会</b>や人々の交流促進が必要である。</p>	G



## 7 基本方針

現状の課題	
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>四季を通じて花やみどりがさらに楽しめるよう草花を計画的に配置する必要がある。</li> <li>何度でも訪れたいような好循環を生み出す場を提供する必要がある。</li> <li>子どもを対象とした場の整備やイベントのさらなる充実が必要である。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者視点に立った総合案内所機能をさらに強化し、季節ごとの見どころや様々な来訪者ニーズを踏まえた情報を提供する必要がある。</li> <li>地域内を巡るためにHPやSNSを用いて各エリアが連携し一体性をもった情報を継続的に発信する必要がある。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>西園「カフェ・レストラン」は多くの来訪者で賑わいをみせている。この好事例を分析し、他の施設の改善に繋げていく必要がある。</li> <li>既存施設を維持するとともに、魅力を向上するために、施設の老朽化や新たなコンテンツの提供などに対応する必要がある。</li> <li>地域の自然や文化、歴史などエリアの特色を活かしたテーマ性のあるイベントによって、幅広いニーズに合う事業を行う必要がある。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎌倉街道の整備による渋滞の解消とあわせて、駅からの案内をわかりやすくするなど公共交通機関の利便性を向上する必要がある。</li> <li>エリア内のさらなる回遊性向上のため、移動しやすさ、案内のわかりやすさが必要である。</li> </ul>
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア内の情報を一括で得られる拠点として総合案内所機能を強化、継続していく必要がある。</li> </ul>
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と連携したイベントを継続していく必要がある。</li> <li>市内で活動している個人や団体の地域への参加の働きかけが必要である。</li> </ul>
G	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な主体の参加により持続的に花やみどりを守ることが必要である。</li> <li>花やみどりとのおふれあいの機会や人々の交流促進が必要である。</li> </ul>

環境の変化によるニーズ	
H	<p><b>○学びや体験へのニーズの高まり</b></p> <p>スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器が普及し、個人の体験がSNSなどで共有されるようになり、あらゆる体験が身近に感じられるようになった。消費行動は従前の「モノ」「コト」から若い世代を中心に、今ここでしか体験できない、「トキ」を楽しむことに価値を見出すようになってきている。四季彩の杜でも西園の「ラボ・体験工房」で開催される様々なワークショップや講座「やくしの学び」が人気となっている。このことは新たな四季彩の杜の楽しみ方の可能性を広げている。</p>
I	<p><b>○様々なライフスタイルに合わせた楽しみ方</b></p> <p>コロナ過を経験し、生活が一変したことにより、生き方そのものを見つめ直すきっかけになった人は多い。社会や地域とのつながり、健康の大切さを再認識した人が増えている。また、テレワークも急速に普及し、場所を選ばず仕事ができるようになった。ライフスタイルに変化が現れ、四季彩の杜に求められる価値が以前より多様化している。四季彩の杜を一日かけて散策する人、「カフェ・レストラン」でテレワークを行う人、「ラボ・体験工房」のワークショップで地域交流を行う人など、様々なライフスタイルに合った四季彩の杜の魅力を提供する必要がある。</p>



対応する課題とニーズ	【基本方針】
A G	<p>① 四季折々一年を通して花やみどりを楽しむことができ、何度でも訪れたい場をつくりたい。</p> <p>四季折々に異なる風情ある四季彩の杜特有の景観を多くの世代に接してもらえるように、風景、風情を感じられる草花等を配し、感動を得られる施設や眺望を楽しめる場所を地域内に設けます。四季彩の杜に行けば、いつでも多くの人々がどこかで四季が感じられ、何度訪れても楽しめる施設にします。</p> <p>《方策例》 草花鑑賞や自然観察会／梅まつりの賑わい／野鳥観察会／歴史イベント開催 など</p>
A C F G H I	<p>② 子どもから大人まで、様々なライフスタイルに合わせた学びや体験の場をつくりたい。</p> <p>地域住民や来訪者が集い、歴史、自然、文化などの四季彩の杜「ならでは」の体験を通して、新たな発見や自分の気づきにつながる事業を展開します。また、お年寄りから子どもまでの全年代に渡る「遊び」「喜び」「癒し」「休息」「特別感」等の幅広いスタイルに対応した施設にします。</p> <p>《方策例》 やくしの学び／ヨガ教室／収穫体験／リスの巣箱づくり／写真教室 など</p>
A C F	<p>③ 地域資源を活かして様々な主体によって支えられるにぎわいをつくりたい。</p> <p>美味しい食事やお酒、スイーツを堪能する場の提供、町田市名産品や新鮮な町田産農作物の販売、農業体験の支援等、町田市民によって支えられ共に発展する参加・交流型地域にします。また、老朽化した施設の維持管理や改修を行い、集客力の向上を図ります。</p> <p>《方策例》 カフェ、レストランの充実／農体験プログラムの開催／地場産品の販売促進／遊具などの遊び場の整備 など</p>
B E	<p>④ 様々な主体が連携した包括的な管理運営により、持続型エリアをつくりたい。</p> <p>豊かな里山の自然や歴史が残る四季彩の杜に点在する施設の情報を集約し、地域全体として統一された情報の発信を行います。また、包括的な管理運営によって、各施設の機能が相互に連携し、経済的効果が高く、利用満足度の高いエリアにします。</p> <p>《方策例》 全施設の情報の統括と提供／各施設の連携によるイベント開催／関係主体との連携／一体的なプロモーション など</p>
D	<p>⑤ 巡ることが楽しく、スムーズにアクセスできる地域をつくりたい。</p> <p>駅や自動車からのアクセス性と施設間移動を改善するために、動線整備と誘導の仕組みを検討し、行きやすく・巡りやすく、利用することが楽しい地域にします。また、交通渋滞の緩和に向け、公共交通機関の利用を促す仕組みづくりを進めます。</p> <p>《方策例》 公共交通機関への誘導／他施設への連続利用を踏まえたルート整備／景観演出や身体負荷を考慮した園路整備／移動手段確保 など</p>

## 8 計画の策定体制及び推進体制

### ■ 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、市民等の意見を聴取するため、町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会（※1）を設置するとともに、庁内で連携した検討を進めるため、町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定庁内検討会（※2）も設置します。

また、施設利用者へのアンケート調査や潜在的ニーズを把握するためのWEBアンケート調査、市民意見募集、四季彩の杜関係施設へのヒアリング等を行い、ニーズの把握や意見交換をしながら計画を策定します。

#### ※1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会委員

- ・学識経験（観光、里山、ランドスケープ）を有する者 3名
- ・町田薬師池公園四季彩の杜周辺地域の町内会・自治会の代表 3名
- ・町田薬師池公園四季彩の杜に関係する団体の代表 2名
- ・一般社団法人町田市観光コンベンション協会の代表 1名

#### ※2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定庁内検討会委員

- ・政策経営部企画政策課長
- ・地域福祉部障がい福祉課長
- ・経済観光部農業振興課長
- ・都市づくり部交通事業推進課長
- ・都市づくり部公園緑地課公園管理担当課長
- ・文化スポーツ振興部文化振興課長
- ・経済観光部観光まちづくり課長
- ・道路部道路政策課長
- ・都市づくり部公園緑地課長
- ・生涯学習部生涯学習総務課担当課長

### ■ 計画の推進体制

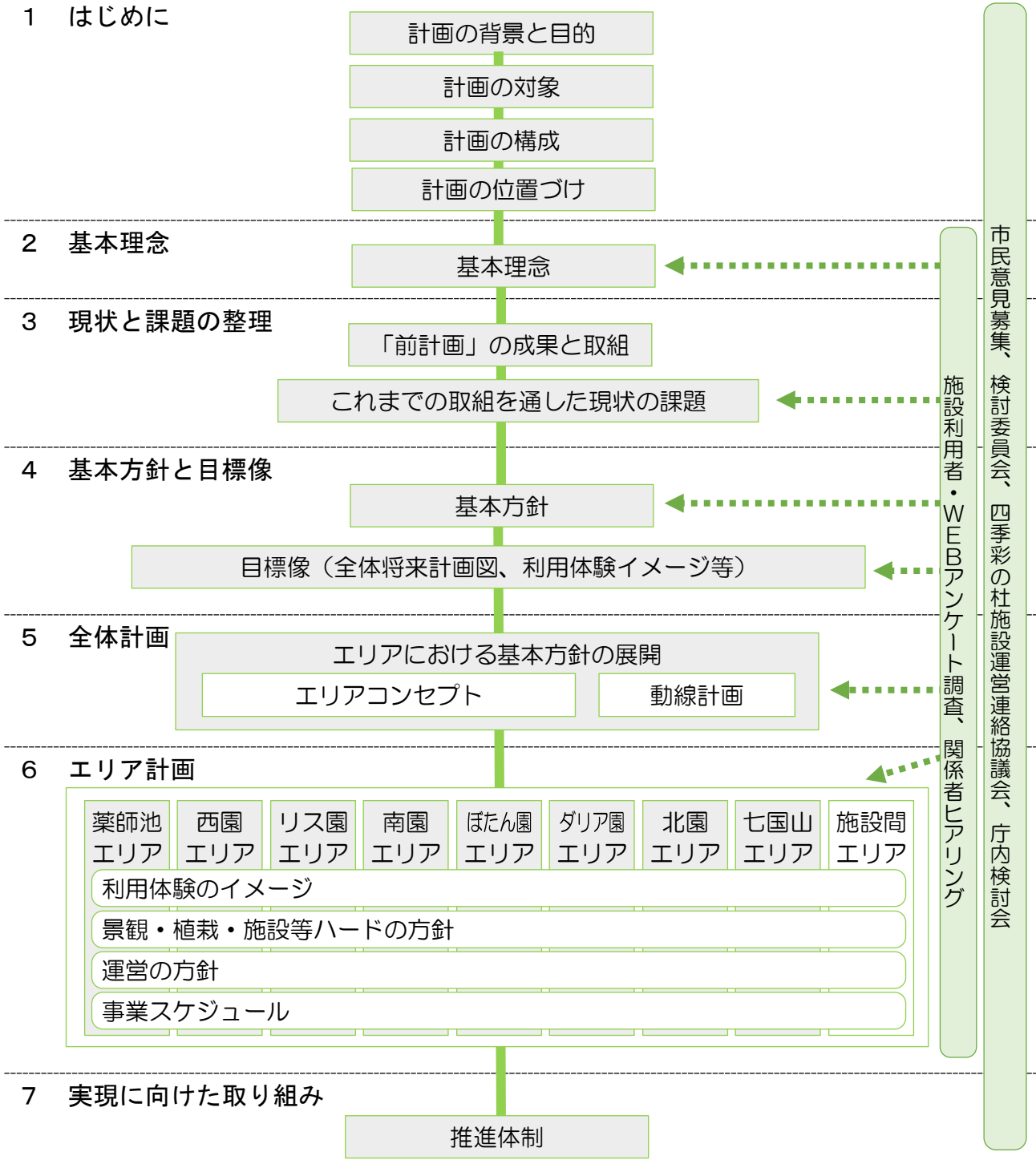
本計画の推進は、行政が全体を取りまとめながら、各関係主体の協力のもと、着実に推進していきます。

関係主体	役割
来訪者（市内・市外）	施設の利用、イベントの参加、SNS等発信、要望・意見の提供 など
地域団体	公園の管理運営の補助、イベントの企画、保全活動、要望・意見の提供 など
企業	イベントの実施、イベントの協賛、情報発信 など
四季彩の杜施設運営連絡協議会	施設間連携の推進 など
西園指定管理者	総合案内所の設置運営、情報発信 など
観光コンベンション協会	施設の一体的コーディネート、アドバーザー、情報発信、イベントの企画 など
行政	計画の推進、各主体間との連携・調整、情報発信、公園の管理運営 など

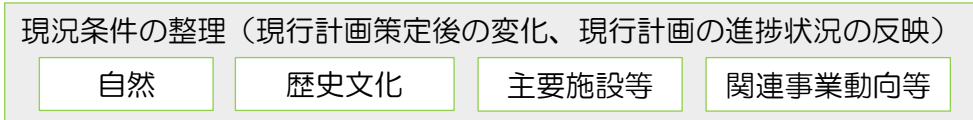
# 資料 1 計画の構成

本計画の構成は、以下のフロー図のとおりです。

## ■ 計画の構成



## (参考資料) 地域の現況





## 資料2 今後の計画策定スケジュール

本計画の計画策定スケジュールは、以下のとおりです。

### ■ スケジュール表

2022 年度	策定の流れ	検討委員会 (※1)	庁内検討会 (※2)	議会
6月				
7月	アンケート等実施		第1回	
	↓ 骨子完成		第2回	
8月		第1回		
9月			第3回	
10月	計画案完成		第4回	
11月		第2回	第5回	
12月	市民意見募集			行政報告
	↓ ↓			
1月			第6回	
2月		第3回		
	計画完成			
3月				行政報告

※1 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定検討委員会

※2 町田薬師池公園四季彩の杜魅力向上計画改定庁内検討会

参考資料 目標像の作成 イメージ

■ランド・デザイン図



図1 四季彩の杜ランド・デザイン図



■四季彩の杜における将来の体験カレンダー

利用者が、季節の移ろいや風情を感じられるよう四季折々の草花等を配植します。植栽にあたっては、各エリアの地形や植生などの環境条件を踏まえ、植栽種を選定するとともに、植物が生育する環境基盤も適切に維持育成しながら、華やかで風情のある植物の維持管理を行います。また、本エリアに分布する地域資源を活かして、一年を通して楽しむことができる場と体験を提供します。

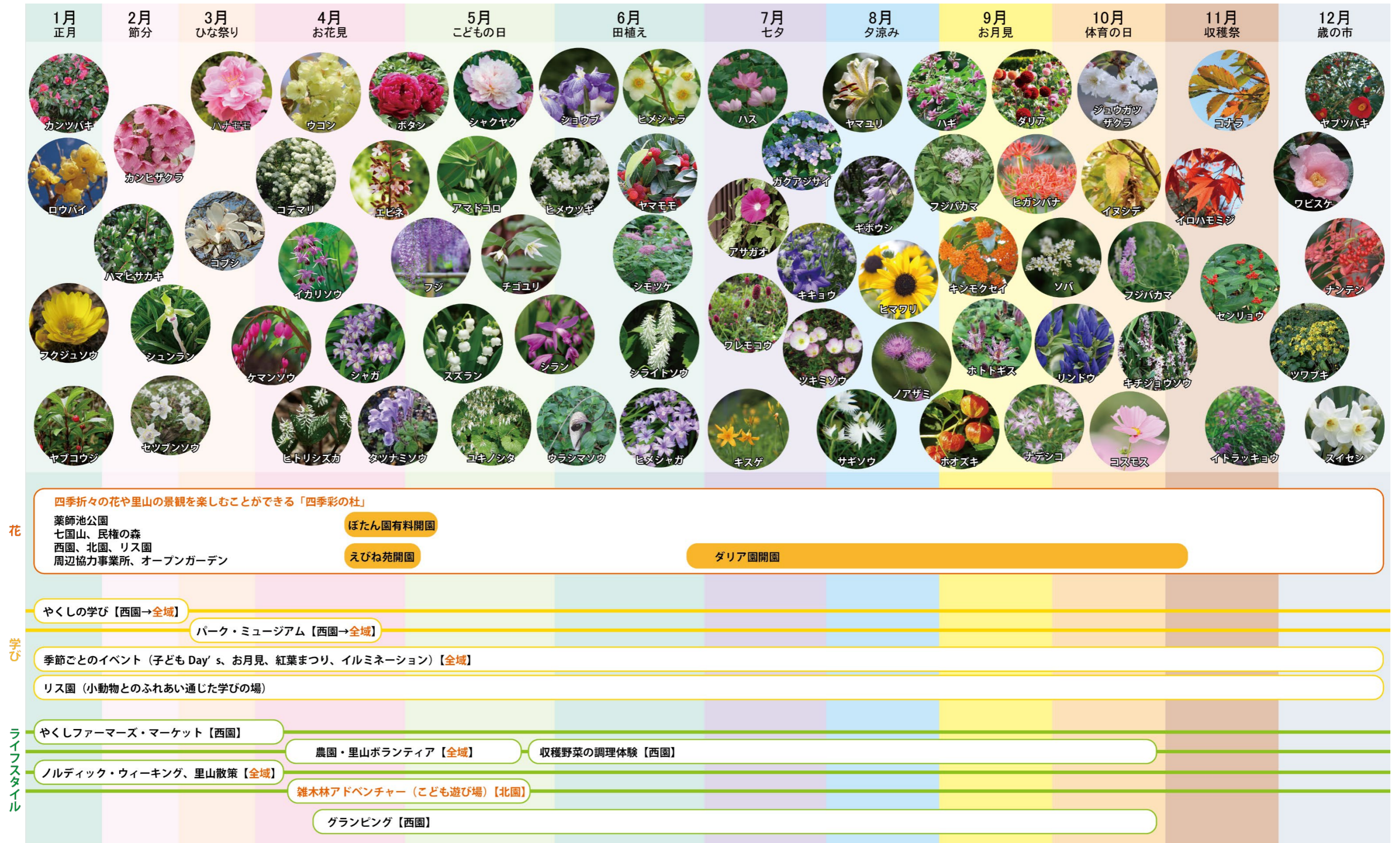


図 2 四季彩の杜体験カレンダー



■四季彩の杜における将来の体験ストーリー(案)※計画本編への掲載については未定

四季彩の杜の目標像を多くの関係者に共有しやすくするために、来訪者の体験ストーリーを例示します。

表 1 四季彩の杜における将来の体験ストーリー

利用者像	利用目的	時間ごとの体験										移動マップ	
		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00		
<p>B男(72歳) 退職7年目 年金暮らし 家族:妻(75才) 町田市〇〇 趣味:緑化ボランティア、散歩、草花 利用SNS:Line 好きなサイト: 情報源 月一で街歩きサークルの活動に参加</p>	<p>ハイキングサークルで、メンバー7人と四季彩の杜周辺を散策。10月の水曜日08時にウェルカムゲートに集合した。帰りに野菜を買ってくるように妻から言われている。</p>												
<p>A子(42才) IT企業勤務 収入700万円 家族:夫(45才)、息子(10才) 川崎市麻生区 趣味:キャンプ 利用SNS:Facebook 好きなサイト: 情報源: 週末は家族とアウトドア</p>	<p>5月中旬の土曜日、田植え体験イベントに、夫、息子とともに参加。14時に解散したが息子はまだ遊び足りない。</p>												
<p>C子(28歳) 保育士 収入330万円 家族:父(58歳)、母(52歳)、妹(24歳) 町田市〇〇 趣味:写真 利用SNS:Instagram 好きなサイト: 情報源:</p>	<p>自宅近くのウォーキングコースとして四季彩の杜を利用。日曜の朝、ウォーキングしながら保育園での工作のアイデア探し。</p>												

